



GIGA スクール構想 1人1台端末 活用事例



カメラ機能を使った個別学習での児童の活動記録

教科・領域	自立活動・個別学習・キャリアアップタイム 等
名称	カメラ機能を使った個別学習での児童の活動記録
写真 使用方法	① 個別学習での様子を各児童の1人1台端末（iPad）の『カメラ』アプリで写真や動画を撮影する。 （例：スパイダーシステムやファシリテーションボールを用いた身体の活動） ② 撮影した写真／動画を『写真』アプリで視聴する。 ③ 写真については、特記事項を編集メニューの『マークアップ』機能を使ってタッチペンで直接記入する。 撮影した写真／動画をアセスメントや評価の材料として活用する。  
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	・ 1人1台端末（iPad） ・ アプリ『カメラ』（標準アプリ） ・ アプリ『写真』（標準アプリ）、編集メニュー（マークアップ機能  ） ・ スマートフォン用の簡易タッチペン（100円ショップで購入。）
使ってみて （効果・反省等）	・ 撮影した写真／動画は、指導計画作成のためのアセスメントや評価、記録として活用することができた。 ・ マークアップ機能で、気づきをすぐに画像に文字や矢印などで直接書き込むことができて大変便利だった。 ・ 視覚的に活動を振り返ることができ、その場では気づかなかったことを後に発見することもできた。 ・ 1人1台端末なので、当該の児童データのみを残せる点が大きなメリットである。次年度以降の引継ぎにも使用することができる。
その他・周辺機器	校内（一人一台端末用充電保管庫）



スイッチを押して写真を撮ろう

教科・領域	せいかつ・自立活動・個別学習・キャリアアップタイム 他
名称	『スイッチを押して写真を撮ろう』
写真 使用方法	学習例1： せいかつ：『春』を探そう ① 各自が見つけて興味を持った花などを、一人一台端末（iPad）の『カメラ』アプリを使用して撮影する。 ② 振り返りの時間に、各自の端末を電子黒板にミラーリングし、撮影した写真を写しながら報告することで、活動を共有する。 学習例2： インカメラで自分の姿を写そう ・ 1人1台端末（iPad）の『カメラ』アプリで、インカメラ（ディスプレイ側のカメラ）を使用する。 ・ 鏡のように児童の顔・姿を映す。 ・ 撮影（自撮り）して、鑑賞する。 ※ 画面の任意の部分（シャッターボタン）をタップすることが難しい児童のために、スイッチとスイッチインターフェイスを組み合わせて使用する。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	・ 1人1台端末（iPad） ・ アプリ『カメラ』（標準アプリ） ・ スイッチインターフェイス『i+Pad タッチャー』または『フックプラス』 ・ ビッグスイッチ他、児童の実態に応じたタイプのアクセシビリティ・スイッチ（参考）イヤホンジャックに接続するシャッターボタン（100 円均一ショップで購入。）も使える。
使ってみて （効果・反省等）	・ 児童から離れた場所に咲く花でも拡大して手元で提示できる。画面に映る花等によく注目することができていた。 ・ ケーブルをつなぐだけで電子黒板にすぐにミラーリングすることができた。 ・ インカメラを使った自撮りでは、児童の反応も良く、画面に映る自分に向かって呼び掛けのように声を出したり、頭を動かしながら見つめたりする様子が見られた。 ・ スイッチ操作と撮影の因果関係を理解できるようになるためには、他のスイッチ教材も活用しながら、中長期的な取り組みが必要だと考える。
その他・周辺機器	校内（1人1台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出ロッカー） シャッターボタン 私物（100 円均一ショップで購入可能）



画面に触れて楽しもう

教科・領域	個別学習
名称	『画面に触れて楽しもう』～音・映像によるシンプルなタップゲームによる『因果関係の理解』を促す学習～
写真 使用方法	事前にアクセスガイドをオンにする  ・ 初回設定方法 ① 「設定」>「アクセシビリティ」>「アクセスガイド」と選択してから、「アクセスガイド」をオンにします。 ② パスコード設定:「アクセスガイドのパスコードを設定」をタップしてから、パスコードを入力します。 ③ アクセシビリティのショートカット:アクセスガイドのセッション中のショートカットをオンにします。 ④ その他、任意で時間制限、画面の自動ロックを調整する。 ・ 使用アプリを起動する。 ・ ホームボタンを3回クリックし、『アクセスガイド』を選んでオンにする。(必要に応じて、タップ操作の無効画面の領域を設定する。) 「開始」をタップ。 これで、児童による操作中に『意図しないアプリの切り替わり』『広告リンクを開く』を防ぐことができます。 ※ 画面の任意の部分をタップすることが難しい児童のために、スイッチとスイッチインターフェイスを組み合わせる使用とする。(使用したアプリ・機能・入出力支援機器等を参照)
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	・ GIGA スクール iPad (児童各自に割り当てたもの) ・ アクセシビリティ機能「アクセスガイド」(意図しないアプリの切り替わりや広告バナーなどの誤タップを防ぐために使用) ・ アプリ『Fluid』、『i♥Fireworks Lite (花火)』、『ピアノあそび』、『キラキラお絵かき for iPad』、『Horns』等、タップ操作のみで遊べる知育アプリ。 ・ (視覚認知に困難がある児童の場合、必要に応じてスイッチとスイッチインターフェイスを用いる)
使ってみて (効果・反省等)	・ 音や映像の変化に気づき、確かめるように何度も画面に触れる様子が見られた。特に『Fluid』では画面上に湧き出るように表示されるマープリング模様を見て夢中でタップする児童がいた。 ・ 画面をなでるように手で触れると意図せずにアプリが切り替わってしまうことがある。『設定』アプリのアクセシビリティ項目中の『アクセスガイド』をオンにしておく、一つのアプリで集中して使用することができるので、必須の設定である。 ・ 視覚で対象をとらえることに困難がある児童については、スイッチとスイッチインターフェイスを併用し、スイッチ入力で音を楽しめるようにする。 『i♥Fireworks Lite (花火)』は興味を持ち、何度もスイッチに手をのばして入力できた。
その他・周辺機器	



写真をタップしてチワちゃんと遊ぼう

教科・領域	自立活動・個別学習・キャリアアップタイム 他
名称	『写真をタップしてチワちゃんと遊ぼう』 VOCA と電動玩具の組み合わせ教材
写真 使用方法	- VOCA(音声出力コミュニケーション装置) アプリ『たち&びーぷ』で、子犬の玩具のシンボルを作成する。(音声には歌『おもちゃのチャチャチャ』のサビを使用。) - アプリ『たち&びーぷ』とスマート乾電池『MaBeee』を連携させて、シンボルの音声(歌)が再生中に子犬の玩具が動くようにする。 - 玩具の写真に触れると、玩具が動くという因果関係を意識しながら遊ぶ。 ※ 画面の任意の部分(シャッターボタン)をタップすることが難しい児童のために、スイッチとスイッチインターフェイスを組み合わせで使用。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	1人1台端末(iPad) - スマート乾電池『MaBeee』 - アプリ『たち&びーぷ』(アプリ内設定で MaBeee と連携させる。再生中に玩具が作動するように設定する。) - 乾電池駆動の子犬(チワワ)の玩具 - スイッチインターフェイス『i+Pad タッチャー』 - ビッグスイッチ他、児童の実態に応じたタイプのアクセシビリティ・スイッチ 
使ってみて (効果・反省等)	- どの児童も繰り返し取り組む中で、ディスプレイに映る子犬の写真に触れると、実物の玩具の子犬が動くという因果関係に気づき、操作して遊べるようになった。歌が再生されることに興味を持つ児童もいて、聞きながら確かめるように画面に触れていた。 - スイッチを操作することで玩具が動き、音声再生される VOCA と玩具の組み合わせ教材は、児童の主体性やコミュニケーションの意欲を伸ばすために有効な教材であると感じた。
その他・周辺機器	校内(1人1台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出ロッカー) 子犬玩具 私物



先生と一緒に YouTube タイム

教科・領域	個別学習・キャリアアップタイム 他
名称	『先生と一緒に YouTube タイム』
写真 使用方法	- YouTube 等のインターネット上の動画・音楽メディアを、指導者と一緒に鑑賞し、そこで生まれる反応や、それに対する言葉がけなどのやりとりにより、コミュニケーションの経験を重ねる。 - 一つの画面を二人で見ることにより、自分と他者との『体験の共有』を感じられるようにする。 ※ 【厳禁】必ず指導者が傍につき、端末を与えっぱなしにしないようにする。
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	- 一人一台端末（iPad） - アプリ『YouTube キッズ』 子ども向けのコンテンツが豊富で、ユーザーインターフェイスも直感的でわかりやすい。動画サムネイルも大きくて見やすく、選びやすい。 ※ 初期設定時に保護者の年齢認証が必要であり、担当教員が代行した。Google workspace でのログインは行わない。
使ってみて (効果・反省等)	- 初めはやみくもに画面に触れたり、端末を抱え込んだりしていたが、それでは動画を楽しめないということを経験的に理解し、指導者の言葉がけや働きかけを受け入れ、落ち着いて視聴できるようになってきた。 - 興味あるシーンでは笑いながら指導者の顔を覗き込んで共感を求めたり、指導者の手を取って見たい動画のサムネイルに触れようとしたり、児童と端末と指導者の三項関係も見られるようになった。 『スマホ子守り』に代表されるようなネガティブな印象のある YouTube 動画の視聴だが、与えっぱなしにすることが問題なのであり、指導者と一緒に鑑賞し、体験を共有することで、有意義なコミュニケーションツールとしても機能することが実感できた。
その他・周辺機器	校内（一人一台端末用充電保管庫、ICT 支援機器貸出ロッカー）



個別学習のスケジュールリング

教科・領域	自立活動(個別学習) _
名称	個別学習のスケジュールリング
写真 使用方法	【使用方法】 ① 学習で使用する教材の写真を撮る。 ② 写真を順番に並べる。 ③ 指導者が立てたスケジュールを一緒に確認する。 ④ 課題を行う。 ⑤ 課題が終わったら、画面を☆印をタッチし、次の課題へと移る。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部3年 AB 中グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	RITARICO「やること」アプリ
使ってみて (効果・反省等)	・ 課題内容の見通しを持つことができた。 ・ 一つの課題が終わったら☆印を押し、次の課題へと進む流れはすぐに受け入れ、応じることができた。しかし、☆印が増えていたり、音が鳴ったりすることによって意欲を引き出す、という点についてはまだ少し難しかった。
その他・周辺機器	



調べ学習（国語）

教科・領域	国語
名称	調べ学習
写真 使用方法	（１）学校のことを知る。 ① 知らないこと、知りたいことを整理する。 ② ネットでの検索や学校職員に質問することで調べる。 （２）調べたことをまとめる。 ① iPad 内のスライドを使用し、写真や文字の入力をして内容を整理する。 ② 完成したスライドを使用して発表する。 ↓ 児童が作成したスライドや発表の様子
対象児童生徒 学年・グループ	小学部6年 C高グループ 2名
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	・ スライド ・ カメラ（動画・写真） ・ 大型テレビ
使ってみて （効果・反省等）	・ スライドのアプリはシンプルですぐに使い方を覚えて一人でも作成できるようになった。文字入力は自分でやりやすいように工夫するようになった。 ・ インタビューをしたり、作成したスライドを発表したりするという経験をする中で、相手を意識して伝わりやすいように話す工夫ができるようになった。（大きな声で話す、伝わりにくかったら文章にするなど） ・ 写真撮影や動画撮影の際に、撮影していいかどうかを相手に確認することを学ぶことができた。
その他・周辺機器	



SDGs ってなに？

教科・領域	自立活動
名称	SDGs ってなに？
写真 使用方法	① 1 階廊下に掲示された SDGs のポスターに興味を持ち、iPad で、興味のある部分を撮影した。 ② メモアプリに張り付けた。 ③ 「SDGs」を検索し、その結果を見て、YouTube で、児童向けの関連動画を選んで見た。 ④ 記録に短文を打ち込んだ。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1 年 C 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	- 写真アプリ - メモ帳 - Google Chrome
使ってみて (効果・反省等)	興味を持っていた言葉について、動画を見ることによって、内容の理解が深まった。入力に慣れていないが、慣れると、更に、検索がスムーズとなり、理解が深まるとともに、興味の幅が広がると考える。 まだ 1 年生ということで、検索結果が難しい場合が多かったが、同時に、動画や写真も表示されるので、分かるものを選んで見た。 動画はわかりやすかった。
その他・周辺機器	



かず・あそび、ひらがな

教科・領域	個別学習
名称	個別学習
写真 使用方法	- 自分でアプリを開き、音声に従い課題に取り組む。 - 平仮名のなぞり書きを指先でしたり、自分でまたは指導者と一緒に声に出して読む。 - 数字のなぞり書きを指先でした後、声に出して読み、対応する量数の確認を自分でまたは指導者で行う。
対象児童生徒 学年・グループ	小学部1年 C 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	- GIGA スクール ipad（児童各自に割り当てたもの） - アプリ『Goo bee かず・あそび』、『ひらがな』
使ってみて (効果・反省等)	- 工夫された画像や音響効果により、興味を持ち、集中して楽しみながら課題に取り組むことができた。 - ひらがなの書き順の学習では、間違った方向には書き進めることが出来ない仕組みになっており、どうすれば良いか自分で考えながら書くことができた。 - 数字をなぞった後で、数に対応した個数の具体物のイラストが出てくるが、次の映像への切り替わりが早く、ゆっくり数えることが難しいこともあった。
その他・周辺機器	



やることリスト

教科・領域	個別学習（かず）
名称	個別学習
写真 使用方法	使用方法 - 授業で使用する具体物を撮影し、音声をふきこむ。 - フォルダを作成し、カードを授業内容の順番に並べる。 - 授業始めに学習内容を確認、終わったら☆を押していく。  
対象児童生徒 学年・グループ	小学部1年 C低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	アプリ「やること」
使ってみて （効果・反省等）	- 自分で活動内容を決めることができ、意欲をもって学習に取り組むことができた。 - 一つの学習を終えるごとに『☆』を押し、見通しをもって活動することができた。 - 音声で読み上げる機能があり、文字が読めない児童でも、写真と音声で内容を理解することができた。 - 児童と一緒にカードを作成し、意欲を引き出すことができた。
その他・周辺機器	



口の動き方の学習

教科・領域	自立活動
名称	キャリアアップタイム
写真 使用方法	① 「safari」でYouTubeを開く ② 「おくちのたいそうステップ1」を検索 ③ 設定を開き「再生速度」を調整する ④ iPadの設定を開き「アクセスガイド」をオンにし、児童の誤操作で動画が止まらないようにする。 ⑤ 動画スタート
対象児童生徒 学年・グループ	小学部2年 C低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	「safari」
使ってみて (効果・反省等)	・ 再生速度の変更ができたので、児童の達成具合によって速度調整を行えた。 ・ Kingbox等のアプリを入れ、広告なしで動画を見られるような環境設定を行えばよかった。 ・ 動画中もiPadの画面を操作したくなるので「アクセスガイド」を使用し動画中のみ操作できないようにした。最初は、規制をかける箇所を何度か変更した。
その他・周辺機器	



プレゼンテーションアプリの活用

教科・領域	自立活動
名称	個別
写真 使用方法	使用方法 - 必要なことを調べる。 - パワーポイントに音声入力機能で文字を入力する。 - 挿入する写真を選ぶ。 - 見せたい先生を決め、パワーポイントを見せながら説明に行く。
対象児童生徒 学年・グループ	小学部3年 C 低グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	「パワーポイント」 「safari」 「カメラ」
使ってみて (効果・反省等)	- パワーポイントにまとめることで、調べたことを整理することができ、本児も自分で見返すなどわかりやすくなった。 - パワーポイントに記録したいという気持ちから、日々の青虫の成長を写真で撮影したり、餌をあげたりなど意欲的に取り組めた。 - パワーポイントにまとめたことで達成感が生まれ、他の先生に見せたいという気持ちがわき、自ら他の先生に関わりに行くことでできた。 - ひらがな文字入力を試したが、キーボードの文字が小さく見つけることに時間がかかったため、音声入力にした。
その他・周辺機器	



国語・算数

教科・領域	国語・算数
名称	国語・算数
写真 使用方法	「Safari」を使用して課題に出てきた虫の情報や言葉の写真を検索し、「AirDrop」で共有し課題への理解を深める。
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 4, 5 年 C 高グループ 3 人
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	「AirDrop」 「Safari」 「写真」
使ってみて (効果・反省等)	- 児童は iPad を意欲的に使用していた。 - iPad を操作することで集中力が続き、写真だけでなく動画サイトを活用することで虫の歩き方等の生態についても深く知れた。 - 児童と教員、児童同士のコミュニケーションをとる場面が見られた。
その他・周辺機器	



iPad の基本操作、調べ学習

教科・領域	総合的な学習の時間、自立活動
名称	iPad の基本的な操作方法、調べ学習
写真 使用方法	2人1台の iPad を使用し、基本的な操作方法や調べ学習を行った。
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 1, 2, 3 年 FG グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	• AirDrop • Safari • カメラ、写真、メモ
使ってみて (効果・反省等)	情報機器操作の基本であるアカウントやパスワードの管理、電源の ON、OFF など自分一人で行った。 ① ログイン時に必要な、アカウントやパスワードの意味を知る。 ② パスワードを自分で考える ③ パスワードを自分で入力し、ログインする ④ ログアウトの意味を知り、自分で終了する ⑤ iPad の保管、管理の方法を知る。 ⑥ QR コードの意味や使い方を知る。 また使い慣れた頃に、チェックリストを用いて自分のできることなどを確認した。 ① 自分の iPad の番号がわかる ② ふたをあけて、テーブルに立てることができる ③ パスコード6桁を入力することができる ④ ボリュームを調節できる ⑤ ホームボタンの使い方を知っている ⑥ インターネットを見ることができる ⑦ Siri を使って検索できる ⑧ iPad の保管、管理の方法を知る。 毎日取り組むことで、操作方法を習得することができた。調べ学習時に、AirDrop を使用することで、友だちと情報を共有することができた。iPad 活用のルールを守りながら、大切に扱うことができた。
その他・周辺機器	



iPad の基本操作、調べ学習

教科・領域	自立活動
名称	個別
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	高等部2年 DE グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	・ 「写真」 ・ 「カメラ」 ・ 「PowerPoint」 ・ 「safari」 など
使ってみて (効果・反省等)	・ 保護者との面談で生徒一人が映っている動画を部主事同席のもと、お見せした。1人1台端末で、いつでも活動の様子を撮影することができるため、生徒の積極的に活動している場面を撮影することが可能になった。 ・ 視線入力 of GazeTrace を iPad で撮影することで、生徒がどこを見ているか後から評価することができた。また教員の口頭指示するものを見ていることが確認できた。その様子を保護者に見ていただき、喜んでいただけた。
その他・周辺機器	iPad タッチャー、ピックスイッチなど



ストップモーションの制作

教科・領域	美術
名称	ストップモーションの制作
写真 使用方法	iPad を撮影台に固定し、コマ撮りをしていく。 生徒用 iPad 「写真」 内に動画として保存している。
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 1, 2 年 G グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	アプリ「ストップモーションスタジオ」 iPad で撮影し、動画へ編集し、テレビで鑑賞する。
使ってみて (効果・反省等)	生徒 3 名は、アニメーションに高い興味を持っており、参考作品を鑑賞し、試しに撮影することで、アニメーションの仕組みを理解し、アプリを使うことができた。アニメーション制作を身近に感じ、意欲的に活動できた。
その他・周辺機器	



社会科

教科・領域	社会
名称	社会科
写真 使用方法	iPad の safari を活用する際、「お気に入り」登録されているブラウザが多いと、探索しづらいので、ブラウザを Google のみにした。
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 1, 3 年 F グループ
使用したアプリ・ 機能・ 入出力支援機器等	• Safari • Google • 付属のキーボード • ライトニングケーブル • HDMI ケーブル
使ってみて (効果・反省等)	使用に際して、iPad の配布や回収に生徒が主体的にかかわるためには、授業内容以外に 5 分以上の時間がかかった。授業の展開上、毎回の取り組みは難しかった。
その他・周辺機器	